

学校だより ~9月特別号~

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/daigonishi-s/>

E-Mail daigonishi-s@edu.city.kyoto.jp

〒601-1378 京都市伏見区醍醐川久保町1 Tel.571-0221 fax571-4629

令和6年 9月 30日

京都市立醍醐西小学校

校長 森川 浩孝



令和6年度 第1回学校評価について

保護者の皆様にはお忙しい中、7月に実施いたしました「学校評価」のアンケートにご協力いただきありがとうございました。また、児童には日頃の学習や学校生活の様子についてふり返り、自己評価を実施いたしました。保護者の皆様からいただきました学校評価と児童の自己評価を通して、学校の日頃の取組を見直すきっかけにするとともに、保護者・地域の皆様と一緒に、よりよい教育のあり方を探っていきたく考えています。今回は、90通を超える回答をいただきました。

子どもを共に育む
京都市民憲章



児童と保護者で同じ内容のアンケート項目<上段:児童 下段:保護者> ※左から①…そう思う ②大体そう思う ③あまり思わない ④思わない				保護者の方・地域の方へのアンケート項目								
1. 楽しく学校へ通えています。	61.4	28.1	6.1 4.4	9. 学校でほめられます。	33.6	44.3	16.8 5.3	11. ご家庭で、お子たちの宿題や学習の準備を点検していただいていますか。	30	33.3	30	6.7
1. お子たちは、楽しく学校へ通っていますか。	52.2	45.6	2.2 0					12. 学校の学習環境は整っていると思いますか。	41.1	56.7	2.2 0	
2. 自分からあいさつしています。	39.8	36.3	16.8 7.1	10. おうちでほめられます。	46	29.2	14.2 10.6	18. 学校の様子や取組を、ホームページやおたよりなどから知ることができていますか。	53.3	43.3	3.3 0	
2. お子たちは、自分からあいさつをしていますか。	22.2	46.7	30 1.1	9. ご家庭で、お子たちをほめていただいていますか。	36.7	47.8	15.6 0	20. 学校・家庭・地域が連携し、教育が進められていると思いますか。	35.6	57.8	6.7 0	
3. 正しいことばづかいで話しています。	38.1	46.9	12.4 2.6	11. 学校の勉強はわかりやすく楽しいです。	52.2	32.8	11.5 3.5	21. 学校安全の取組は、進んでいると思いますか。	35.6	61.1	3.3 0	
3. お子たちは、正しい言葉づかいで話していますか。	17.8	35.6	37.8 8.9	10. お子たちは、学校の勉強が分かりやすく楽しそうですか。	27.8	58.9	10 3.3	22. 醍醐西教育に満足されていますか。	48.9	47.8	3.3 0	
4. 友だちと仲よくすごしています。	69.9	23.9	3.5 2.7	12. おうちを学習しやすいように整理整頓しています。	37.2	36.3	17.7 8.8	15. 夕食は、「主食・主菜・副菜」がそろっていますか。	22.2	48.9	25.6 3.3	
4. お子たちは、友だちと仲よくすごしていますか。	52.2	43.3	3.3 1.1	13. ご家庭の学習環境は整っていると思いますか。	42.2	54.4	3.3 0	児童と保護者で同じ内容のアンケート項目 <上段:児童 下段:保護者>				
5. 学校でのできごとを自分から家の人に話しています。	52.2	18.6	15 14.2	13. 「早ね・早起き・朝ごはん」ができています。	39.8	26.5	19.5 14.2	17. 家で学習している時間はどれくらいですか。①0-30分 ②30-60分 ③60-90分 ④90分以上	48.7	33.6	10.6 7.1	
5. お子たちは、学校での様子を家で伝えてありますか。	33.3	48.9	12.2 5.6	14. お子たちは、「早寝・早起き・朝ごはん」など、基本的な生活習慣が身についていますか。	31.1	38.9	24.4 5.6	23. お子たちの家庭での学習時間はどれくらいですか。①0-30分 ②30-60分 ③60-90分 ④90分以上	46.7	40	11.1 2.2	
6. 学校やクラスの約束を守っています。	37.2	54	5.3 3.5	14. ゲームやスマートフォン・インターネット・SNSなどを使う時間やルールを守っています。	38.1	32.7	14.2 15	18. 家で読書している時間はどれくらいですか。①全していない ②1-30分 ③30-60分 ④60分以上	56.6	29.2	6.2 8	
6. お子たちは、学校や学級の約束を守っていますか。	24.4	61.1	13.3 1.1	16. お子たちは、ゲームやスマートフォン・インターネット・SNSなどを使う時間やルールが守られていますか。	14.4	37.8	37.8 10	24. お子たちの家庭での読書時間はどれくらいですか。①全していない ②1-30分 ③30-60分 ④60分以上	44.4	45.6	7.8 2.2	
7. こまったことをそうだんできる人がいます。	9.7	71.7	9.7 8.9	15. 行事や部活動がんばっています。	62.8	30.1	4.4 2.7	19. 自主学習をどのように進めていますか。①自分で考えて ②おうちの人といっしょに ③おうちの人が考えて ④できていない	68.1	8.8	20.4 2.7	
7. お子たちは、困ったことを相談できる相手がありますか。	43.3	48.9	6.7 1.1	17. 学校の行事や部活動は、子どもたちにとって有意義なものになっていますか。	55.6	42.2	2.2 0	25. お子たちは、自主学習をどのように進めていますか。①自分で考えて ②保護者の方といっしょに ③保護者の方が考えて ④できていない	61.1	24.4	0 14.4	
8. 将来の夢をもっています。	74.3	13.3	36.2 6.2	16. いじめや仲間はずれをしません。	68.2	22.1	4.4 5.3	20. ゲームやスマートフォンなどを1日に使う時間はどれくらいですか。①全く使わない ②60分未満 ③60-120分 ④120分以上	13.3	29.2	27.4 30.1	
8. お子たちは、将来の夢をもっていますか。	33.3	42.2	22.2 2.2	19. いじめや仲間はずれのない学校づくりができていますか。	28.9	64.4	4.4 2.2	26. お子たちのゲームやスマートフォン等の1日の使用時間はどれくらいですか。①全く使わない ②60分未満 ③60-120分 ④120分以上	8.9	23.3	35.6 32.2	

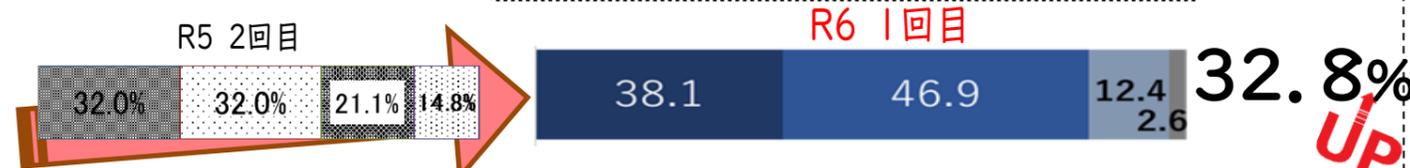
第1回学校評価（7月）の分析・考察

今回の分析は、前回（昨年度1月）に実施しました第1回学校評価アンケートと比較し、「そう思う」「大体そう思う」にお答えいただいたものをもとに、ランキング形式でお知らせします。

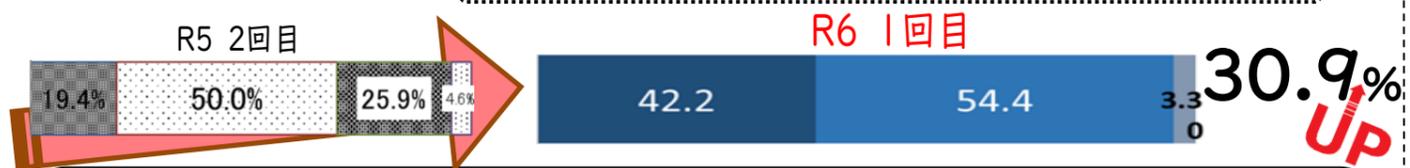
【前回（昨年度1月）の学校評価と比較 up 編】

No.1

児童 3. 正しいことばづかいで話しています。



保護者 9. ご家庭の学習環境は整っていると思いますか。



児童への設問について、「正しい言葉遣いで話していますか？」に対して、「そう思う/大体そう思う」と回答した割合が全体の85%を占めており、前回より32%増加しました。保護者の方にも同様の設問「お子さんは正しい言葉遣いで話していますか？」に対して、前回より6%上昇しました。児童が「正しい言葉遣いで話している」と感じる割合が上がった理由として、いくつかの要因が考えられます。

- ① ソーシャルスキルトレーニング（『きらりタイム』）
月に1度の『きらりタイム』でのソーシャルスキルトレーニングは、児童が正しい言葉遣いを学ぶための重要な機会となっています。
- ② あいさつ運動
児童会を主体としたあいさつ運動も、正しい言葉遣いの向上につながっていると考えられます。あいさつ運動では、次のような効果が期待できます。
 - ・ 日常的な実践：毎日のあいさつを通じて、正しい言葉遣いが徐々に身につけていく。
 - ・ モデルの提供：児童会のメンバーが模範となり、他の児童に良い影響を与えている。
 - ・ コミュニティの形成：学校全体での取り組みとして、正しい言葉遣いが大切であるという共通認識が広がっている。

その他にも、家庭での言葉遣いに対する子どもたちへの声掛けが影響していると思われます。また、保護者の方への設問「ご家庭の学習環境は整っていると思いますか？」に対して、前回は30%以上も上回る回答が得られました。家庭学習の習慣をつけるために、学習する時間を決めて毎日同じ時間に宿題に取りかかったり、テレビを消すなど集中しやすい環境づくりに取り組んでくださった結果と思われる。

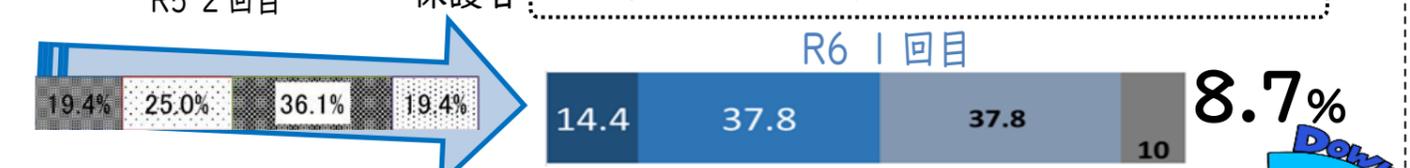
【前回（昨年度1月）の学校評価と比較 down 編】

No.1

児童 8. 将来の夢をもっています。



保護者 15. お子たちは、ゲームやスマートフォン・インターネット・SNSなどを使う時間やルールが守られていますか。



児童への設問で「将来の夢を持っていますか？」について、前回より2.4%下がっています。その要因の一つとして、子どもたちが職業や職種について十分に知らないことが、将来の夢を持つことが難しい一因となっている可能性が高いです。職業の多様性や具体的な仕事内容についての情報が不足していると、子どもたちは自分の興味や適性に合った夢を描くことが難しくなります。授業でのキャリア教育のみならず、職業について話す機会を増やすことで、子どもたちが将来の夢を具体的に持つ手助けができると思います。

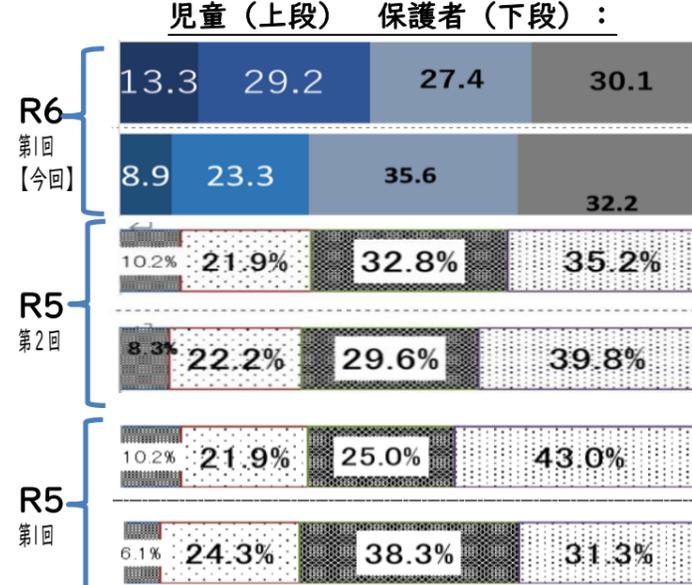
また、保護者の方への設問で「ゲーム・スマートフォン・インターネット・SNSなどを使う時間やルールを守っていますか？」という質問に対し、守っているとの回答が前回と比較して10%近く下がっています。ゲーム・スマートフォン・インターネット・SNSの使い方については、基本的な生活習慣の確立にも大きく関わっています。子どもたちの会話の中にも「ゲームをしていて、寝る時刻が遅くなった」といったことがよく聞かれます。また、ゲーム・スマートフォン・インターネット・SNSは、子どもたちのより良い仲間づくりにも大きく関わってきます。ぜひご家庭でもスマートフォンやインターネット、ゲーム、SNS等の使い方について再度話し合ったり、ルールを決めたりしていただきますようお願いいたします。

ココに注目①

メディアの使用時間が改善されつつあります！

—過去3回の傾向からみえること—

設問20. ゲームやスマートフォンなどを1日に使う時間はどれくらいですか。
設問26. お子たちのゲームやスマートフォン等の1日の使用時間はどれくらいですか。
＜①全く使わない ②60分未満 ③60～120分 ④120分以上＞



左のグラフの通り、前回・前々回の同時期の結果に比べ、保護者、児童ともに毎日60分以上ゲームやスマートフォンを使用している割合（回答③④）が10%以上低くなっています。この要因として、メディア機器の使い方について考える『メディアコントロール』の取組について、子どもたちを中心に一定の成果がみられていると考えられます。

ここで再度、メディアの使い過ぎによって起きる、良くない影響をお伝えしますのでご確認ください。

- ① 学力への影響
- ② 健康・生活習慣への影響
- ③ トラブルを起こしたり、巻き込まれたりする危険性
- ④ 依存症

子どもたちも我々大人も、メディアにはこれらの危険性があるということを常々意識しつつ、子どもたちに自分で使用時間をコントロールできることが、自分のためになるということもこれからも発信し続けていきたいと思っています。

ココに注目②

読書の時間が減少傾向です！

—全く読んでいない児童が半数以上—

設問18. 家で読書している時間はどれくらいですか。
設問24. お子たちの家庭での読書時間はどれくらいですか。
＜①全くしていない ②1～30分 ③30～60分 ④60分以上＞



左のグラフの通り、お家で読書する時間が全くないと回答している児童が半数以上で、保護者の回答も45%ほどを占めています。読書の習慣づけは、脳科学や学力向上の観点からも大切です。昨年度の11月特別号でも掲載しましたが、次のような点でとても重要です。

1. 知識の増加：読書を通じて、さまざまな分野の知識を得ることができます。
2. 語彙力の向上：新しい言葉や表現に触れることで、語彙力が自然に向上します。
3. 集中力と記憶力の向上：読書は脳を活性化させ、集中力や記憶力を高める効果があります。
4. ストレスの軽減：読書はリラクゼーション効果があり、ストレスを軽減するのに役立ちます。
5. 想像力の向上：物語を読むことで、想像力や創造力が豊かになります。
6. 共感力の向上：登場人物の感情や状況に共感することで、他者への理解が深まります。
7. コミュニケーション能力の向上：読書を通じて得た知識や表現力は、会話や文章を書く際に役立ちます。



自由記述欄に頂いたご意見・ご質問

・学校でお友達と何かあっても担任の先生や他の先生方がすぐに対応して下さり毎日楽しく学校へ通えています。いつもありがとうございます。学校での水分補給なのですが朝、水筒にお茶を入れてほとんど減ってない状態で帰ってきます。この暑さで熱中症が心配です。出来ればこまめに声掛けをして下さると有り難いです。
⇒貴重なご意見、ありがとうございます。『猛暑』を超え、『酷暑』な日々が続いています。水分補給をはじめ、適度な休息や熱中症にならないよう、引き続き、声をかけていきたいと思っています。